

平成14年8月30日

ユニチカ設備技術株式会社

ユニチカグラスファイバー株式会社

エレベーター前耐火スクリーン

“ユニファイヤーガード「EVミニ」”の大臣認定取得と発売について

ユニチカ設備技術株式会社（本社：京都府宇治市 社長：齊藤功）及びユニチカグラスファイバー株式会社（本社：大阪市中央区 社長：木瀬公士）は、エレベーター前に設置できる耐火スクリーン“ユニファイヤーガード「EVミニ」”を開発し、特定防火設備ならびに遮煙性能を有する防火設備の大臣認定（令112条第1項＜特定防火設備＞認定番号：EA-0034 令112条第14項第二号＜遮煙性能を有する防火設備＞認定番号：CAS-0007）を取得し、防災の日である9月1日より発売を開始します。

新開発の“ユニファイヤーガード「EVミニ」”は、ウォークスルー耐火スクリーン“ユニファイヤーガード”同様シリカクロス製スクリーンを使用し、耐火性能はもとより断熱、遮煙性能にも優れています。設置範囲は、小規模な開口幅500～1,350mm、開口高さ1,800～2,350mmを適用範囲とするシリカクロス製スクリーンをエレベーター前に設置するもので、軽量であることから挟まれ時の安全性に優れ、かつ、緊急時の閉じ込め防止に対応する脱出機能を備えています。

軽量、コンパクト設計を実現した「EVミニ」は、従来の同様製品に比べ大幅なコストダウンが可能となり、今後一層の普及が期待できます。

・開発の経緯

建築基準法の改正に伴い、平成14年6月1日以降に着工する3階以上(住宅においては4階以上)の建物のエレベーター前には、防火・防煙区画の設置が義務付けられました。これに伴い、ユニチカ設備技術(株)及びユニチカグラスファイバー(株)は、ウォークスルー耐火スクリーン「ユニファイヤーガード」(開口幅 1,400～2,800mm)の一般認定を業界で初めて取得し、従来の金属製防火シャッターに代わる避難機能付装置として販売を開始しましたが、さらなるコストダウンを実現する“ユニファイヤーガード「EVミニ」”を開発するに至りました。

・「EVミニ」の特長

“ユニファイヤーガード「EVミニ」”はエレベーターの入口に、耐火性能に優れたシリカクロス製ロール式耐火スクリーンが防火・防煙区画を形成します。

[耐火・遮煙性]

スチールシャッターと同等以上の耐火性能がある
気密性が高く防煙シャッターと同等以上の遮煙効果がある
スチールシャッターに比べスクリーン内側の表面温度を 200 以上低く抑える

[安全性]

火災時に自動火災感知器と連動し、スムーズに降下します。
スクリーンは軽量で、降下時に挟まれ事故の危険性がなく、万一挟まれても簡単に脱出が可能
透光性があるため、反対側の状況が把握しやすい

[意匠性]

金属製シャッター部材（スラッド）に比べ軽量で、収納スペースもコンパクト
エレベーター昇降ロビーの大規模改造が不要
エレベーターとの一体化により、違和感がない
電動駆動部がなくコンパクト設計により低コストを実現

・ 販売計画

発売日 平成 14 年 9 月 1 日
初年度 1 億円
3 年後 5 億円

以 上

< 参 考 >

ユニチカグラスファイバー株式会社 会社概要

社 名 ユニチカグラスファイバー株式会社
本 社 〒542-0081 大阪府中央区南船場1-18-17 商工中金船場ビル
TEL:06-6263-7040
代 表 者 代表取締役社長 木瀬公士
資 本 金 11億740万円
創 業 昭和38年3月11日
設 立 昭和46年10月12日
従業員数 270名
事業内容 ガラス長繊維製品の製造・加工ならびに販売。

ユニチカ設備技術株式会社 会社概要

社 名 ユニチカ設備技術株式会社
本 社 〒611-8555 京都府宇治市宇治戸ノ内5
TEL:0774-25-2074
代 表 者 代表取締役社長 齋藤功
資 本 金 1億円
設 立 昭和52年4月5日
従業員数 254名
事業内容 機械及び電気計装の計画・設計・製作・施工及びメンテナンス。土木、建設の設計・施工。ユーティリティー設備の運転管理。

